

えん めい じ ぞう  
**延命地蔵**  
(高福寺)

1500年前後より古庵として在ったものを、万治2年(1659年)に牛堂和尚が玄修和尚を勧請し、曹洞宗として開創。本尊は阿弥陀如来。現在の本堂と庫裡は天明2年(1782年)当寺第10世道富和尚の代に、山門は第11世鉄巖和尚の代に、書院は昭和49年(1974年)第17世哲應和尚の代に建立。

本堂の右手に六地蔵、思惟菩薩、蓮華手菩薩などの石仏と地蔵堂(閻魔堂)在り。

故武井哲應和尚の元で大勢が坐禅し、



師の遷化後も坐禅会は継承され現在に至る。

**地蔵堂(閻魔堂)**

地蔵菩薩、閻魔大王及び十王、計12体を安置。地蔵は延命地蔵で、当寺第4世の門宅和尚が天和2年(1682年)に修復されたが、どういう訳か、頭が傾いてしまった。当時はよく飢饉があったので、飢えた衆生を悲しみ、いつでも救済に出かけられる用意をしていたのでしよう。

平成10年(1998年)に再び修復を施す。頭の傾きが往時のままでいるのは、やはり、昨今の信念信仰の頹廃を憂え、ストレスが多く、地獄、餓鬼、修羅に苦しむ衆生を救うのだと憶念しているようである。

■所在地/高福寺(曹洞宗)

足利市家富町2523

■アクセス

JR足利駅から1.3km、徒歩17分

東武足利市駅から1.3km、徒歩17分

■現住職/武井全補

■電話/0284-21-6206



延命地蔵(高福寺)